

# 子ども・子育て全国フォーラム2016

～社会福祉施設関係者は「子どもの貧困」へ  
どのような支援ができるのか～ 開催要項

平成28年11月30日(水) 10:20～16:00

会場：全社協・灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビル LB階

- 第1部：講演 10:30～12:00  
「社会的養護施設で暮らす子どもへの  
支援を通じた子どもの貧困の削減」

慎 泰俊氏(認定NPO法人Living in Peace理事長)



- 第2部：シンポジウム 13:00～15:50  
「身近にある貧困に社会福祉施設等関係者は  
何ができるのか」

コーディネーター：大竹 智氏 (立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授  
／全社協「子どもと保護者の支援ガイドブック  
作成検討委員会」委員長)

シンポジスト及び実践の視点：

熊 謙次郎氏 (社会福祉法人たちばな会 第一たちばな学園)

…福祉施設が取り組む子ども食堂の実践

櫛田 恵里子氏 (社会福祉法人みねやま福祉会 峰山乳児院)

…乳児院が取り組む地域の子育て家庭への支援

廣瀬 みどり氏 (社会福祉法人みおつくし福祉会 母子生活支援施設東さくら園)

…学習支援を通じた地域の子育て困難家庭の把握と支援

武藤 好美氏 (社会福祉法人宮本福祉会 わらしこ保育園)

…制度の有無を問わない保育所の子ども・子育て家庭への支援

お問い合わせ

社会福祉法人全国社会福祉協議会  
児童福祉部 担当：山本、土谷、秋田

TEL: 03-3581-6503

FAX: 03-3581-6509

# 子ども・子育て全国フォーラム2016

～社会福祉施設関係者は「子どもの貧困」へどのような支援ができるのか～

## 1 趣 旨

近年、「子どもの貧困」が社会的課題として耳目を集めています。『子どもの貧困対策の推進に関する法律』が平成25年に成立（26年施行）し、また、平成26年8月に閣議決定された『子供の貧困対策に関する大綱』に基づき、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現をめざして、多岐にわたる施策の推進が図られています。

一方で、いまだ十分な支援の届かない、あるいは制度の狭間にあって支援が受けられないことを原因とする「貧困」状態に陥ってしまう状況があることは、社会福祉関係者においては既知の事実であり、制度的支援がない場合においても、様々な地域資源と共同しながら支援に向けた取り組みを図ってきました。

「子どもの貧困」という社会的課題をより広く社会一般に理解・浸透させ、我が国全体の課題であるという認識を持ち、社会福祉関係者のみならずこの国に生きるすべての人びとが、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会の実現のために何ができるのか、考える機会の一助として本フォーラムを開催します。

2 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3 共 催 全国保育協議会、全国保育士会、全国児童養護施設協議会  
全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

4 後 援 全国里親会、全国情緒障害児短期治療施設協議会、全国児童自立支援施設協議会、全国自立援助ホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会、全国児童発達支援協議会、全国民生委員児童委員連合会、全社協地域福祉推進委員会  
(予定・順不同)

5 日 時 平成28年11月30日（水） 10：20 ～ 16：00

6 定 員 200名 ※申込締切：11月9日(水)

7 参加対象 全国の児童福祉施設関係者や社会福祉協議会関係者等子ども家庭福祉を推進する機関・団体等関係者、民生委員・児童委員、マスコミ関係者、子ども・子育てに関心のある方 等

8 参加費 2,000円（※税込、資料代）

9 会 場 全社協・灘尾ホール  
(〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2新霞が関ビルLB階)

## 10 内 容

10：20 開 会・挨 拶

10：30～12：00 【第1部】講演

### 「社会的養護施設で暮らす子どもへの支援を通じた子どもの貧困の削減」

慎 泰俊（しん てじゅん）氏（認定NPO法人Living in Peace理事長）

1981年東京生まれ。朝鮮大学校政治経済学部法律学科卒業。早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了。モルガン・スタンレー・キャピタル、ユニゾン・キャピタルを経て、2014年7月に五常・アンド・カンパニー設立。仕事の傍ら、2007年にNPO法人Living in Peaceを設立し、代表理事を務める。著書に「働きながら、社会を変える。～ビジネスパーソン『子どもの貧困』に挑む」（英治出版）、「ソーシャルファイナンス革命～世界を変えるお金の集め方」（技術評論社）など。

12：00～13：00 昼食休憩

13:00 ~ 15:50 【第2部】シンポジウム

## 「身近にある貧困に社会福祉施設等関係者は何ができるのか」

コーディネーター：**大竹 智**氏（立正大学 社会福祉学部 子ども教育福祉学科 教授  
／全社協「子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会」委員長）

シンポジスト及び実践の視点：

**熊 謙次郎**氏（社会福祉法人たちばな会 第一たちばな学園）  
...福祉施設が取り組む子ども食堂の実践

**櫛田 恵里子**氏（社会福祉法人みなやま福社会 峰山乳児院）  
...乳児院が取り組む地域の子育て家庭への支援

**廣瀬 みどり**氏（社会福祉法人みおつくし福社会母子生活支援施設東さくら園）  
...学習支援を通じた地域の子育て困難家庭の把握と支援

**武藤 好美**氏（社会福祉法人宮本福社会 わらしこ保育園）  
...制度の有無を問わない保育所の子ども・子育て家庭への支援

15:55 ~ 子ども・子育て全国フォーラム アピール

16:00 閉会

11 参加申込 次のページの「参加申込書」に必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店にFAXにてお申し込みください。

【申込締切】 11月9日(水)

※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

【お申込先】 名鉄観光サービス(株)新霞が関支店（担当：波多野・山辺）  
FAX.03-3595-1119 TEL.03-3595-1121

12 本フォーラムに関するお問合せ先

全国社会福祉協議会・児童福祉部／担当：山本・土谷・秋田  
100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル内  
TEL. 03-3581-6503 FAX. 03-3581-6509

※手話通訳、要約筆記など、参加にあたってご要望があればご相談ください。

【会場地図】



【アクセス】

- ・地下鉄銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分
- ・地下鉄千代田線／丸ノ内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

# 「子ども・子育て全国フォーラム 2016」

## 参加・昼食 申込書

申込締切 平成 28 年 11 月 9 日(水) 定員(200 名)に達し次第締切とさせていただきます。

【お申し込み先】

FAX 03-3595-1119

名鉄観光サービス(株) 新霞が関支店 担当:波多野・山辺 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル TEL:03-3595-1121

都道府県・ 指定都市名				申込日	月	日
ふりがな				所 属  種別協・ 社協等の 区分	<input type="checkbox"/> 全国保育協議会 <input type="checkbox"/> 全国保育士会 <input type="checkbox"/> 全国児童養護施設協議会 <input type="checkbox"/> 全国乳児福祉協議会 <input type="checkbox"/> 全国母子生活支援施設協議会 <input type="checkbox"/> 都道府県・指定都市社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 市区町村社会福祉協議会 ※社協が運営する保育所等の場合、社協の□にレ印を付けて以下の( )内に具体的内容を記入してください。 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
氏 名					該当□一か所のみ にレ印を付けてください(必須)	
勤務先 (施設名等)				役 職 名		
連絡先住所等 (勤務先住所等) ※参加検討送付先	郵便番号	※郵便番号・住所は正確にご記入ください。				
	住 所					
	TEL	FAX	申込担当者名 (連絡先)			
昼 食 (11/30 フォーラム当日)	<input type="checkbox"/> 申し込みます <input type="checkbox"/> 申し込みません			お弁当 1,200 円 お茶付 消費税込 事前に送付する昼食券と引き換えに当日お渡します		

- ◆締切日以降に参加券および参加費等の振込依頼書をお送りします。到着後ご送金手続きをお願いします。
- ◆変更・取消が生じた場合は本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、再度ご送信ください。
- ◆昼食をお取消の場合 11/24 (木) までは費用は発生しません。11/25 (金) 以降は昼食代全額をご請求いたします。

### 下記テーマについて、ご参加のみなさまの声をお聞かせください

- あなたの所属する組織や施設、あるいは日常生活で目にする「子どもの貧困」の実態について教えてください。
- あなたの所属する組織や施設が、「子どもの貧困」に関する課題に対する支援として、どのようなことができるとお考えですか。
- また、あなたの所属する組織や施設が、「子どもの貧困」に関する課題に対する支援として、地域におけるどのような組織、施設、活動と連携して、活動することができますか。

◆お寄せいただいた声は、本フォーラムの資料として掲載させていただくほか、プログラム内でその内容を紹介させていただきます場合があります。※掲載・紹介を望まれない方、あるいは匿名とされたい方は、下記該当する欄にその旨をご記入ください。

【上記テーマについての意見記入欄】

※この意見の、資料掲載や内容紹介について、□にレ印をお付けください

掲載・紹介してよい (氏名・勤務先とも)     匿名扱いであれば掲載・紹介してよい     掲載・紹介はしないしてほしい